



# 12月 定例会

一般会計 5億4730万円を補正  
熊谷市総合振興計画基本構想などを可決

## 十二月定例会の概要

十二月市議会定例会は、十二月三日から十二月二十日まで十八日間を会期として開かれました。  
この議会では、平成十八年度一般会計・特別会計・企業会計決算十件、および旧江南町などの打ち切り決算七件の認定をしたほか、「熊谷市総合振興計画基本構想」など市長提出議案三十件を審査し、二十八件を原案可決、二件に同意しました。  
また、「熊谷市議会委員会条例の一部を改正する条例」などの議員提出議案三件を原案可決したほか、市民の方々から出された請願六件を審査しました。

初日（十二月三日）の本会議では、閉会中に各常任委員会で審査した、熊谷市、旧江南町等の平成十八年度の各歳入歳出決算の審査結果が報告され、すべて認定しました。  
また、「熊谷市議会委員会条例の一部を改正する条例」等、二件の議員提出議案を原案どおり可決しました。  
そして、市長から「新熊谷市の市長として就任してから二年余となり、この間、旧江南町との合併を経て、県北初の二十万都市として歩みを進めている。市長就任に際して『熊谷新時代の政策提言』として四つの目標を掲げ、八つの政策分野のもと八十四項目の具体的施策をマニフェストとして示し、市政運営の指針

として、その達成に努力してきた。これらの進捗状況について点検したところ、『順調』または『おおむね順調』に推移していると考えられるものは七十七項目、率で九十二%となった。中間総括としては、おおむね順調に進めることができたと考えている。政策提言の中には目標を四年以内としているものなど、未達成なものもあるため、任期の後半については、これらの実現に全力を注いでいきたい。  
今回の補正予算は、国・県の補助金などの内定に伴う事業費や決算見込みを勘案した所要の経費などの補正を行うものである。また、五つの特別会計、および水道事業会計において、それぞれ所要額を計上している。一般議案では、本市の今後の十年間を見据え

た市政運営の戦略指針となる『熊谷市総合振興計画基本構想』などを提案している。」旨が述べられました。  
六日の本会議では、各議案に対する質疑が行われました。そして各議案および請願が、所管の委員会に付託されました。  
七日には、総務文教常任委員会および福祉環境常任委員会において、また、十日には、市民産業常任委員会および都市建設常任委員会において、そして、十一日には総合振興計画特別委員会において、付託された議案等についてそれぞれ、審査が行われました。  
十三日、十四日、十七日の三日間は、十七人の議員による市政に関する一般質問を行いました。  
最終日（二十日）の本会議では、各委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。  
そして、議員提出議案一件を原案どおり可決、人事案件二件に同意し、十二月議会は閉会しました。

## 第二回子ども議会が 開催される

昨年十月二十日に市議会本会議場において、「子ども議会」が開催されました。

会議では、市内十七の中学校から選出された三十四名の子ども議員から、地球温暖化や学校問題などについて、子どもたちの視点からとらえた質問がなされ、市長をはじめ、教育長、担当部長が答弁を行いました。

子ども議会の様子

